アルレッティ

Arletty

生年月日 1898/05/15
出身地 フランス／パリ郊外
没年 1992/07/24

【バイオグラフィ】
■本名はLeonie Bathiat。軍需工場の女工員から秘書、モデルを経て舞台に立つようになり、２０年代はオペラや芝居に出演。３２歳になった３０年にようやく映画デビューを飾る。その後も舞台との両立を続け、「ミモザ館」、「北ホテル」に出演。４２年の「悪魔が夜来る」あたりから本格的に映画に進出。４５年の「天井桟敷の人々」は作品の評価もさる事ながら、その妖艶さと名演は２１世紀になった今でも語り継がれ、彼女の代表作となった。戦後は「われら巴里ッ子」、そして唯一のアメリカ映画「史上最大の作戦」に出演。しかし６４年頃から視力を失い始め、６６年には失明という不運に会うが映画や、ラジオのナレーターを務めて素敵な声を披露し続けた。８２年、セザールの特別賞を受賞。その後彼女を追ったドキュメンタリーが２本製作されたり、功績を称えて“アルレッティ賞”も創設された。

【フィルモグラフィ】

史上最大の作戦（1962）	出演 ：バロー夫人
ヒッチ・ガール（1961）	出演
われら巴里ッ子（1954）	出演
外人部隊（1953）	出演 ：マダム・ブランシュ
死の肖像（1949）	出演
天井桟敷の人々（1945）	出演
悪魔が夜来る（1942）	出演 ：ドミニク
あらし（1940）	出演
陽は昇る（1939）	出演
北ホテル（1938）	出演 ：レイモンド
ミモザ館（1934）	出演

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.